

第11次厚木市総合計画策定に係る
LINEアンケート
調査結果

令和7年9月
厚木市

1. 調査の概要

(1) 目的

令和8年度を始期とする第11次厚木市総合計画長期ビジョンの策定に向け、より多くの市民の皆様の意見等を聴取するため、厚木市公式LINEアカウントの登録者を対象としてアンケート調査を実施する。

(2) 対象

厚木市公式LINEアカウント登録者のうち、メッセージの受信設定が有効である方。 ※調査の期間中に新規設定した方を含む。

(3) 調査期間

令和7年6月17日(火)から6月22日(日)まで

(4) 調査方法

LINEのアンケート機能による回答フォームを作成して、対象者に配信。

(5) 回答形式

選択式と自由記述式の併用。

(6) 回答数

526件

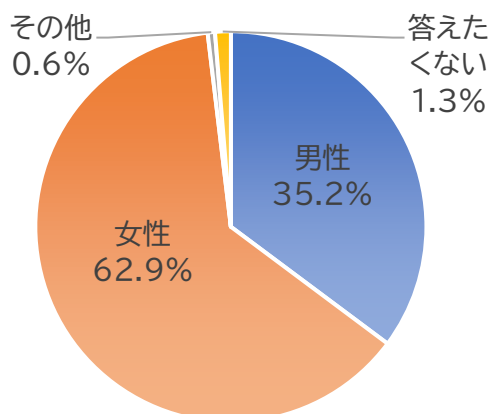
(7) 調査結果の取扱いについて

アンケート調査結果につきましては、第11次厚木市総合計画長期ビジョン原案の策定に当たり、参考とさせていただきました。

2. 調査項目及び結果

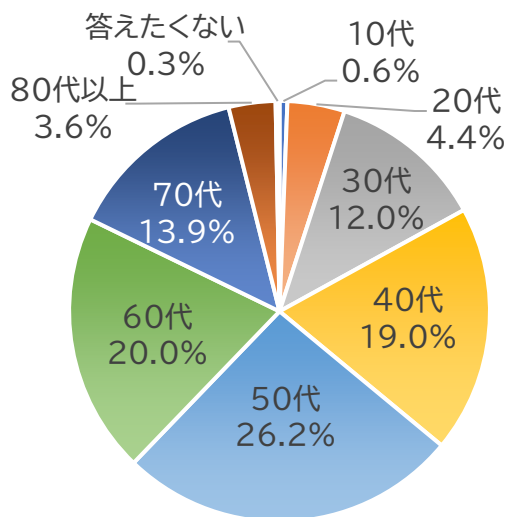
問1 あなたの性別をお答えください。

項目	件数	割合
男性	185	35.2%
女性	331	62.9%
その他	3	0.6%
答えたくない	7	1.3%



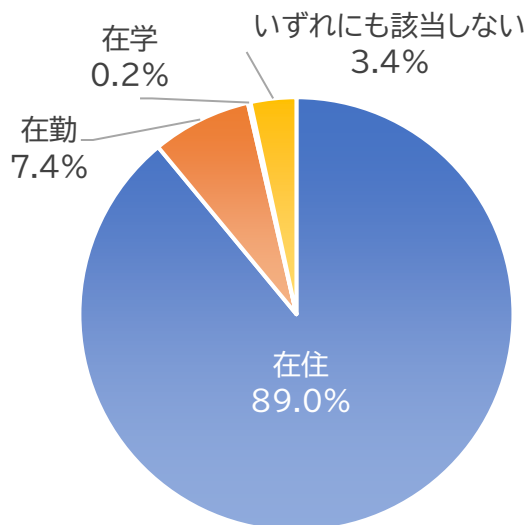
問2 あなたの年齢をお答えください。

項目	件数	割合
10代	3	0.6%
20代	23	4.4%
30代	63	12.0%
40代	100	19.0%
50代	138	26.2%
60代	105	20.0%
70代	73	13.9%
80代以上	19	3.6%
答えたくない	2	0.3%

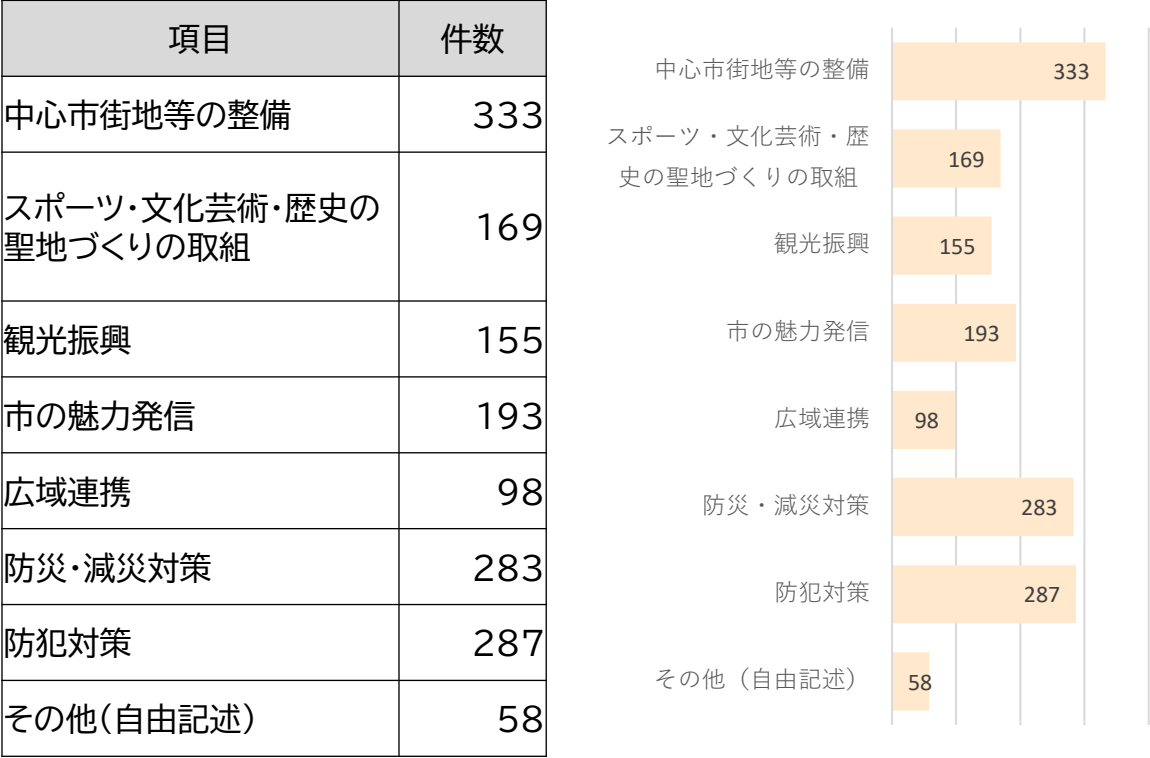


問3 市内への在住・在学・在勤区分をお答えください

項目	件数	割合
在住	468	89.0%
在勤	39	7.4%
在学	1	0.2%
いずれにも該当しない	18	3.4%



問4 戦略1(住みたいまち)厚木の魅力を伸ばし、住みたい住
み続けたいまちをつくる ※複数回答可



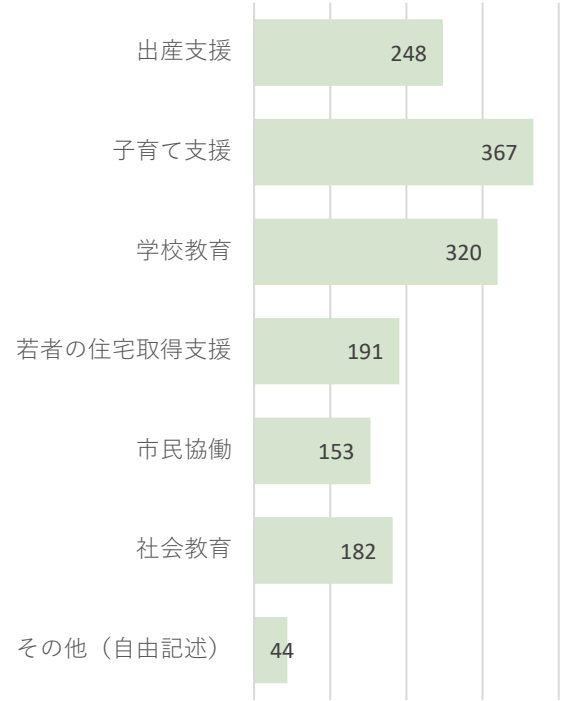
【その他(自由記述)※抜粋】

- ・中心市街地に飲食店、ショッピングモール、映画館などの施設を充実させて、魅力的なまちにする。
- ・駅までの交通の便を改善する。
- ・本厚木駅前に駐車場を充実させて、郊外の人も訪れやすくする。
- ・本厚木駅前の客引き行為等への対策を講じ、治安を改善する。
- ・駅周辺以外の地域でも商業施設や飲食店を充実させ、活性化につなげる。
- ・風俗店やパチンコ店等がまちの風紀を低下させないように対策を講じる。
- ・市内で見られる緑豊かな自然環境や景観といった貴重な資源を保全する
- ・豊かな自然や交通の便の良さといった住みやすい点をアピールする。

など

問5 戦略2(育てたいまち)こども・若者一人一人が幸せに暮らし続けられるまちをつくる ※複数回答可

項目	件数
出産支援	248
子育て支援	367
学校教育	320
若者の住宅取得支援	191
市民協働	153
社会教育	182
その他(自由記述)	44



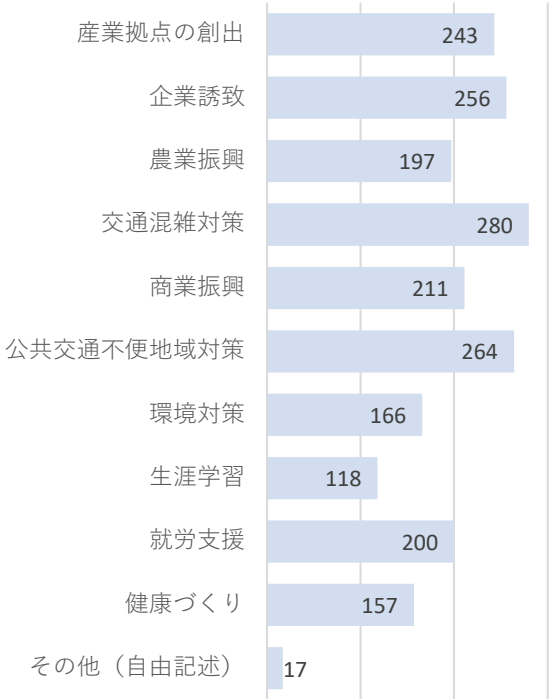
【その他(自由記述)※抜粋】

- ・地域のお祭りで、神輿、山車、太鼓など、こどもが参加できる機会を充実させる。
- ・高齢者も子育てに加わる機会を充実させる。こどもと一緒に活動に取り組んだり、高齢者がこどもの頃に遊んだ遊びを伝えたり、こどもの遊ぶ場所で見守り活動を行うなど。
- ・雨の日や猛暑の日でもこどもが遊べる屋内施設を整備する。
- ・インクルーシブな地域の構築に向けて、啓発活動を実施したり、学習の機会を設けるなどの取組を行い、一人ひとり違って当たり前であるという認識をもって市民が暮らす社会をめざす。

など

問6 戦略3(働きたいまち)地域経済の活性化により、発展し続けるまちをつくる ※複数回答可

項目	件数
産業拠点の創出	243
企業誘致	256
農業振興	197
交通混雑対策	280
商業振興	211
公共交通不便地域対策	264
環境対策	166
生涯学習	118
就労支援	200
健康づくり	157
その他(自由記述)	17



【その他(自由記述)※抜粋】

- ・定年退職した高齢者の働く場を創出する。
- ・雇用の創出につながる業種の企業を積極的に誘致する。
- ・モノレール等の定時運行が可能な交通機関の導入を検討する。
- ・自動運転バスの導入に向けて民間事業者と行政とが連携して検討する。
- ・厚木には豊かな自然があり農業環境が充実しているほか、市内に東京農業大学が置かれているため、大学と連携した農業の効率化を図る。
- ・市内企業、個人店、職人、農家など、市内で働く人と市民が参加するワークショップなどの交流の機会を設け、経済の活性化につなげる。

など

問7 その他、今後のまちづくりに必要だと考える取組について、御意見等がありましたら、御自由に御記入ください。

【自由記入意見※抜粋】

- ・人が集まるスポットを増やすべき。駅前で農業体験ができる空間、センスのある写真映えスポットなど。
- ・公教育が充実するためには、そこで働いている先生方が心身共に健康で、ゆとりのある生活を送れることが大切。こどもたちだけでなく、先生方への支援、サポートを手厚くする事がまち全体を良くすることにつながる。
- ・人口減少が進む中で、行政のデジタル化が必要。市役所の窓口対応は予約制にするか、又はオンライン手続きにより「行かない窓口」にするなどの取組を進めるべき。その上でスマートシティにしつつ、住民もデジタルリテラシーを身につけて暮らす社会につなげる。
- ・農業を有機農業へシフトさせ、安全安心な食材の提供、地産地消、学校給食への地元食材供給につなげる。
- ・インフラは新設よりもまず「メンテナンス」に重点を置く。
- ・文化を創造し、特色のある厚木を目指す。そのためには、厚木の良さを発信している小さな個人店などを大切にして、文化の発信拠点やまちの特色として盛り上げていくと良いと思う。
- ・こどもから高齢者まで、みんなが協力し助け合えるシステムをつくり、暮らしやすいまちにしていきたい。
- ・厚木市は近隣市の発展とよく比較されるが、対抗するのではなく、連携することが良いと思う。イベントの実施など、やれる事は沢山あると思う。

など